



第18回日本医学総会について

会 頭 沖 中 重 雄

第18回日本医学会総会は、昭和46年4月5、6、7日の3日間、12年ぶりに東京で開催されることになりました。

私は、牛場副会頭、中尾準備委員長とともに準備委員会、プログラム委員会を基本に、日本医師会、日本医学会およびその分科会をはじめ各方面の御支援を得て、名古屋総会終了後、昭和42年4月以来準備を進めてまいりました。

すでに百数十回にわたって会合を重ね、最近ようやく構想を整備し、今や、来春の総会まであと約半年を残すのみとなりました。

今総会をひきうけるにあたり、私は、過去の歴史を顧み、その精神をうけいれるとともに、各方面の意見をできるだけ吸収することにつとめ、特に、この数年間、変動する社会、医界の実態を直視し、この総会のおかれている現実の環境を率直に認識するとともに、謙虚な反省を加えながら総会運営の基本方針をたてました。

この総会を機会に、高度に進歩した医学の各専門領域の知識を総合し、これを将来の日本の医学の発展と医療の向上に貢献し、これが社会の人々の福祉に結びつくことを願っています。

このため、総会の主たる内容となる学術集会は、ここ4年間の医学各領域に亘る進歩の現況を明確に浮きぼりにすることに努めました。

また、医界の各方面、すなわち、医学の先端を開拓していく医学者にも、実地臨床に日々専念する医師にとっても、講演、展示等の内容が現実の臨床に、将来への医学の進歩にも役立ち理解されやすいようにプログラムを編成しました。

講演の表現に関しましても、演者、司会者の方々に対し、「聴く人、視る人のため」にわかりやすく講演するという姿勢を特に徹底し、協力をお願いいたしました。

これら学術講演等全体の背景となる総会の姿勢として「医学の進歩と医の倫理」の精神を高く掲げ、医聖ヒポクラテスの像をシンボルマークにとりあげました。

現代の社会におかれている医師全体の心構え、反省としていきたいと祈念する次第であります。

私は、日頃から、医師の目的は一つであること、医師は一致して医学、医療環境の改善に努力し、これを社会に要請し、よい医をもって社会に貢献すべきであると考えております。

今総会も、その一つの機会ともなればと願っております。

私は、一人でも多くの医師の方々に参加していただきたいという考えから、実び医家のとくに多忙な月はじめを避けるとともに、全期間をなるべく短いものにするよう意を用いました。

また、総会の運営につきましても、今総会は、参加者の会費を主たる基盤として自主的に運営する方針をたて、簡素をむねとし、内容の豊かなものにしたいと考えております。

戦後、東京で、日本医学会総会が開催されましたのは、昭和26年、田宮会頭による第13回、昭和34年、内村会頭による第15回の2回であり、今回は、12年目の東京開催ということになります。

私達一同、以上のような姿勢と構想をもって懸命に準備を進めておりますので、どうかできるだけ多くの方々が参加され、各方面の御理解と御協力を得て、この総会を有意義なものにしたいと存じますとともに、所期の目的が達せられ、学会の成果が充分にあがるよう願う次第であります。

第18回日本医学会総会 会員募集 (第1次公告)

期 間	昭和46年4月5, 6, 7日 (4月3, 4日は分科会, ただし44分科会)		
開 催 地	東京都		
総会内容	学術集会	特別講演	25題 (外国人6題)
	"	(臨床医学の進歩)	21題
	シンポジウム		56題
	"	(臨床医学の進歩)	16題
	公開講演		4題
その他	学術展示, 医療器械展示, 医薬品展示, 医書展示, 日本におけるヒポクラテス展, 医学映画映写など		
日 程	4月5日	開会式および開会特別講演 (午前), 学術集会 (午後)	
	6日	学術集会 (午前, 午後)	
	7日	学術集会 (")	閉会式 (夕刻)
学術展示, その他展示会などの催物は4月3日から4月7日まで。			
学術映画映写は総会会期中。			

入会申込方法

△会費 4,000円

△第18回日本医学会総会誌 頒布価格 6,000円 (昭和46年12月発行予定)。なお、従来発行していた学術講演集は発行しません。したがって総会の講演全文記録は総会会誌が原著になります。

△申込期間 昭和45年11月1日から昭和46年2月末日まで
総会開催時に多数の方の申込受付は業務の混乱が予想されますので、できるだけ期間内にお申し込み願います。

△会費の払込み 所定の総会振替口座用紙または総会銀行送金用紙 (日本医師会雑誌または日医ニュース添付) に所定事項を記入の上、お払い込みください。ご送金が総会事務局に入金しますと折返し事務局より会員証および資料等の引換券をお送りいたします。

△総会振替用紙 [郵便用 (赤色), 銀行用 (青色)] は各大学医学部事務室, 都道府県医師会にお送りしてありますが, 総会事務局宛にご請求下さればお送りいたします。

昭和45年10月

第18回日本医学会総会 会 頭 沖 中 重 雄

副 会 頭 牛 場 大 蔵

準備委員長 中 尾 喜 久

連絡場所 第18回日本医学会総会事務局

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-5 日本医師会館内

電話 東京 (03) 291-2121 代表

東京 (03) 291-3491 直通